

夫が亡くなつて  
二年

町内会の  
イベント  
ですか…？

そうそう  
若い人の参加率が  
低いから見望さんには  
是非参加してほしいん  
だけど…

男性からの誘いは今までにも  
何度かありましたが未だに夫のことが  
忘れられずにいます…

それに女子校を出て間も無く  
夫と結婚して家庭に入ったわたしは  
夫以外の男の人をあまり知らず…

そうですね

！……

し…仕事の方が  
ありますので  
まだなんとも…

そ…！

そうだよね！  
ま…まあ  
都合ついたら  
いいんで  
考えといて  
下さい

それじゃ！

他の男性のことが  
少し…こわいというか  
苦手になってしまったのです…

とはいっても  
27歳の成熟した女のからだです…

イヤらしい

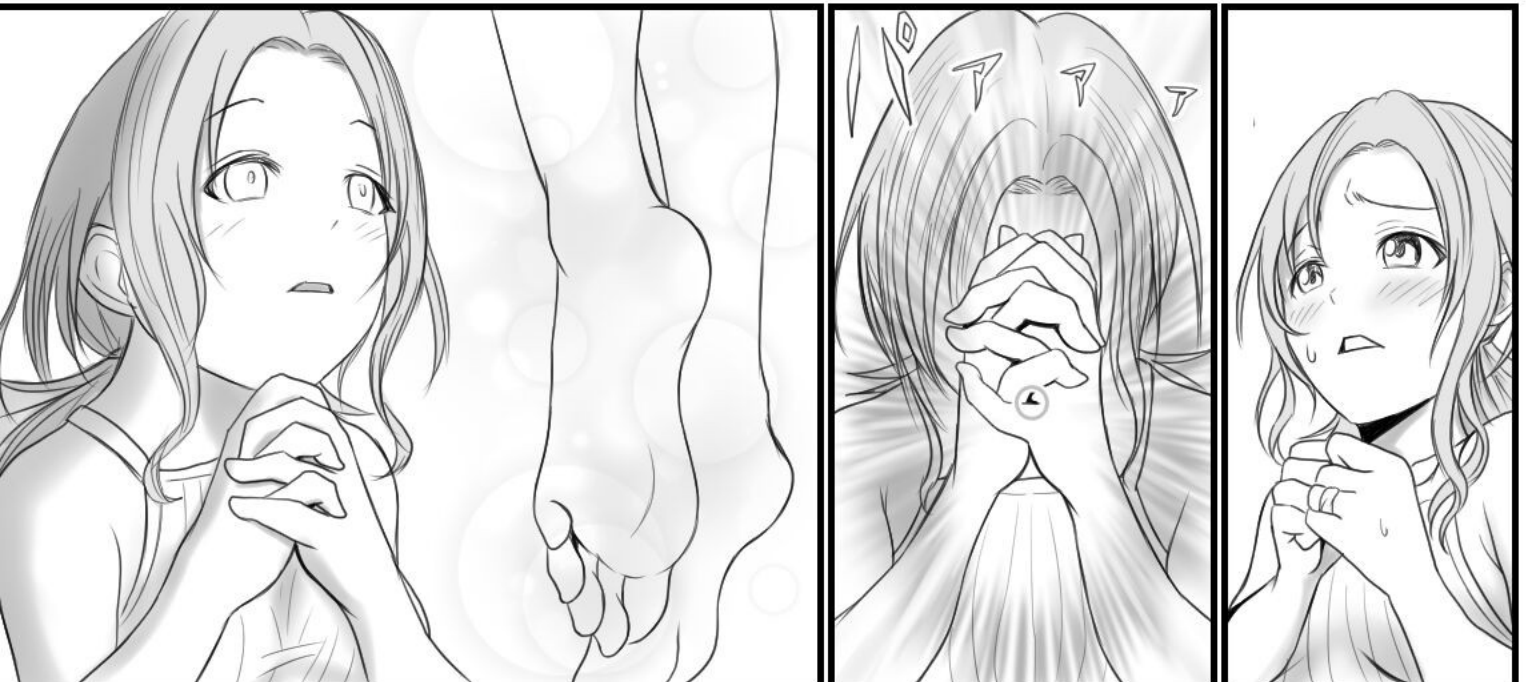
目…

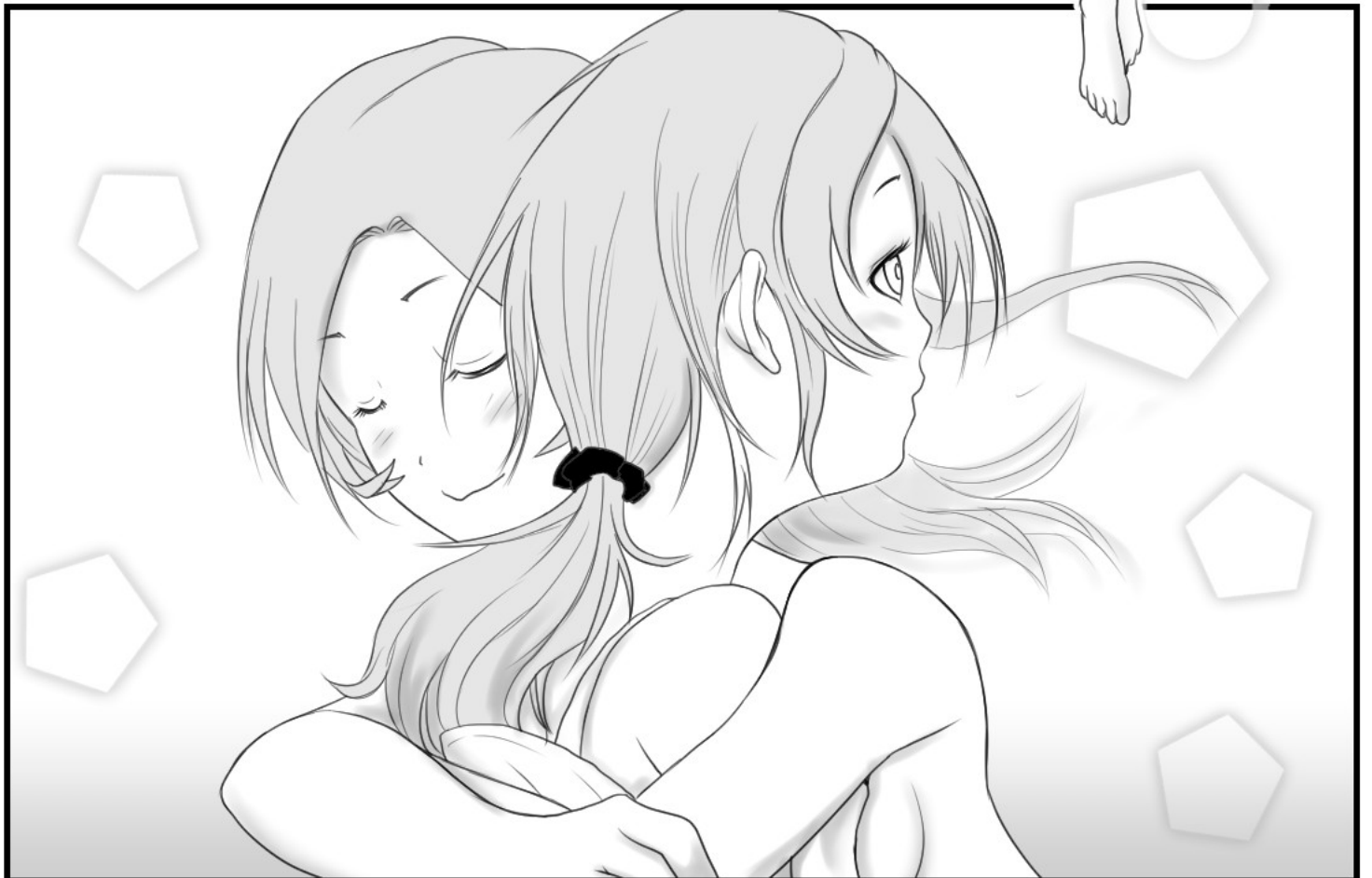
んっ…

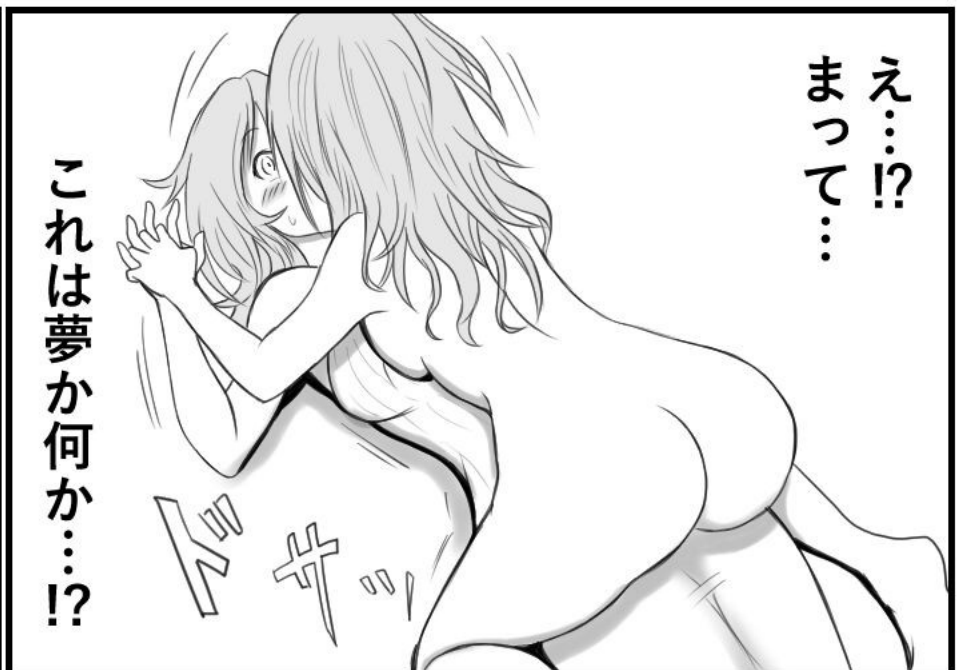
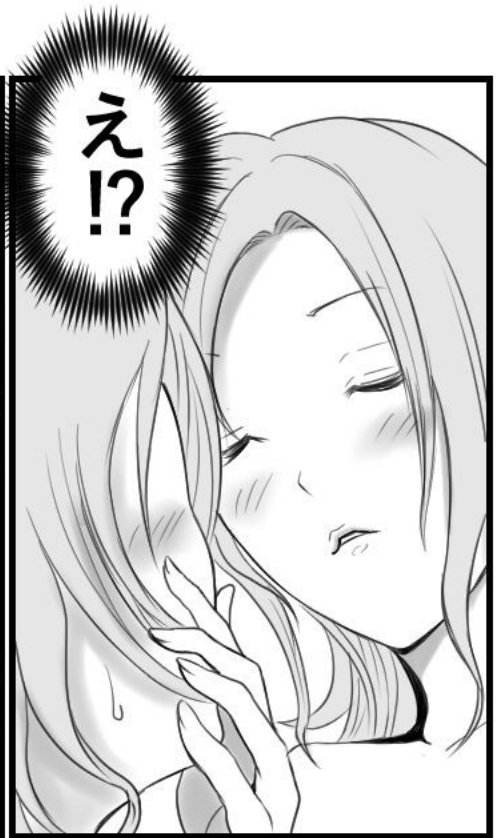
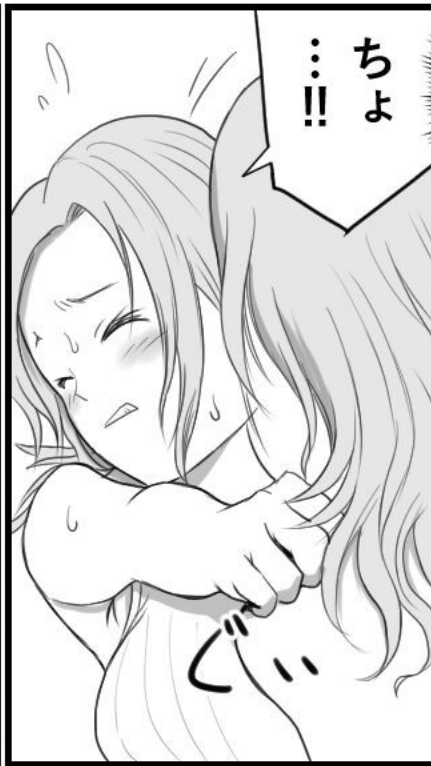
発散されることのない性欲は  
日に日に積み積もっていき  
自分で慰めているだけでは  
もはや満足できなくなっ  
てきているのです…

あなた…  
もう限界…

どうしても  
辛い時  
この指輪を  
指から外して  
祈るんだ







ああ…  
久しぶりの  
キス

肌と肌が  
触れ合う感触  
何だかわたし…

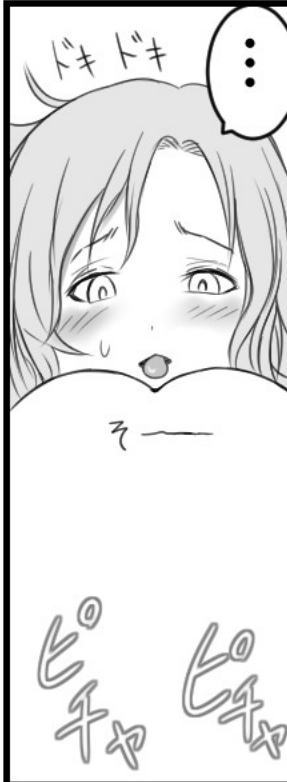
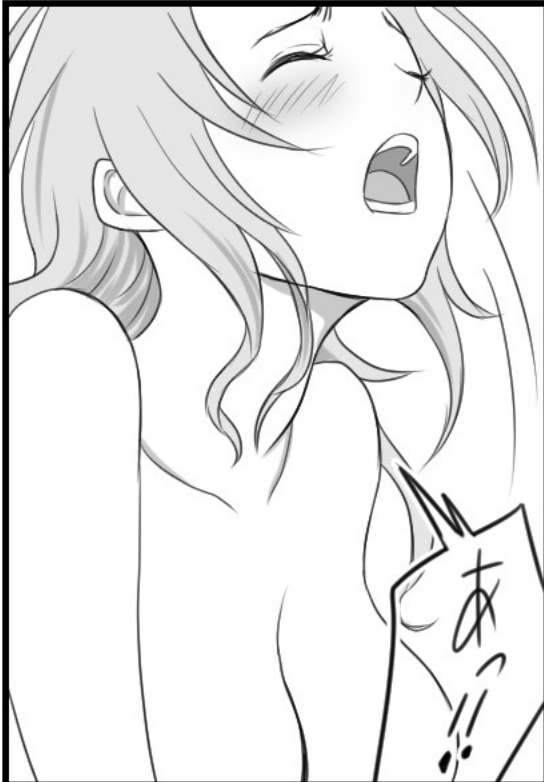
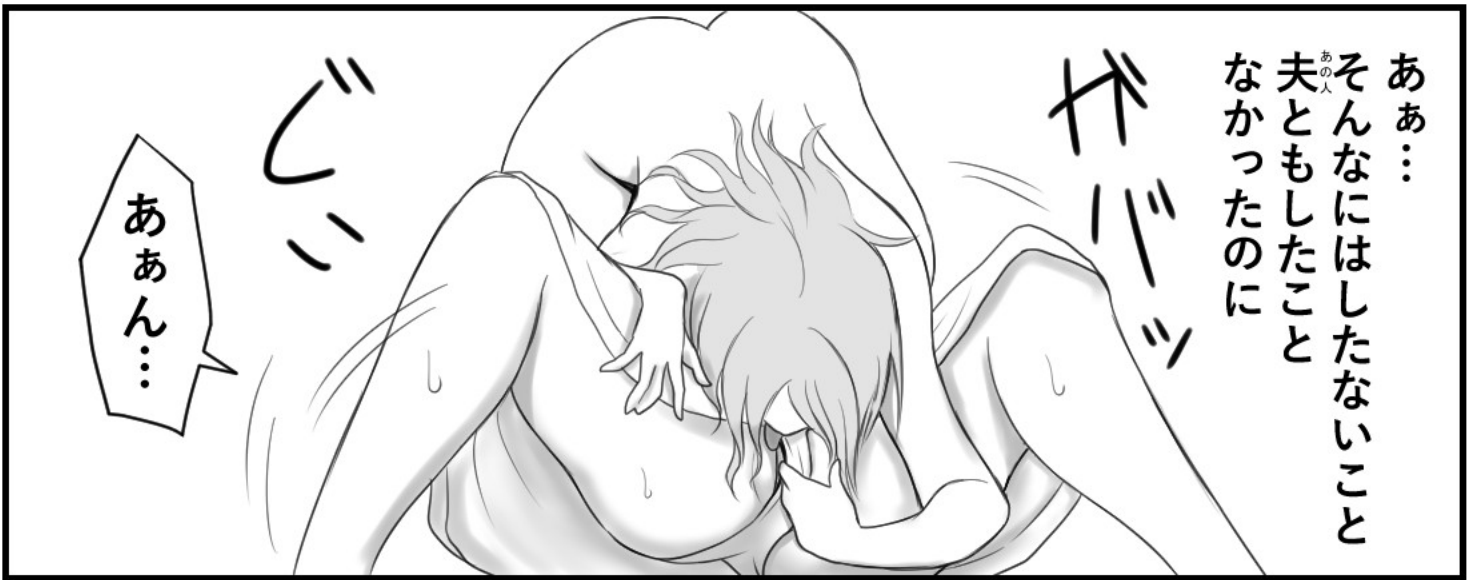
モ  
ー  
ー  
ー

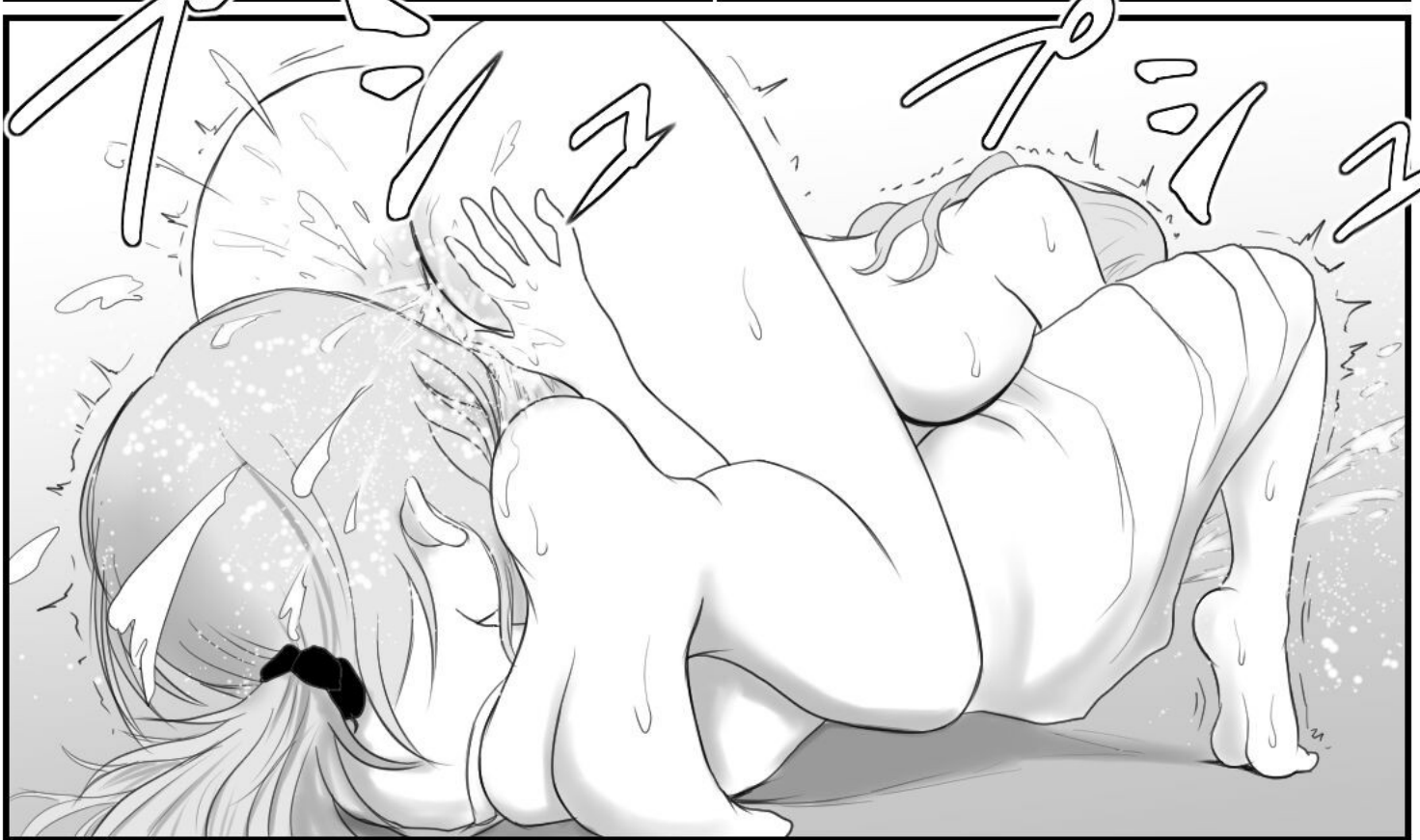
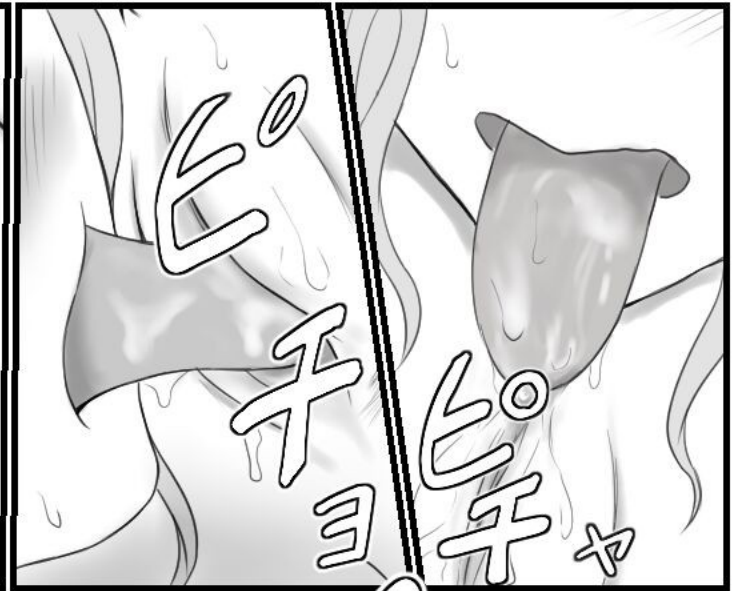
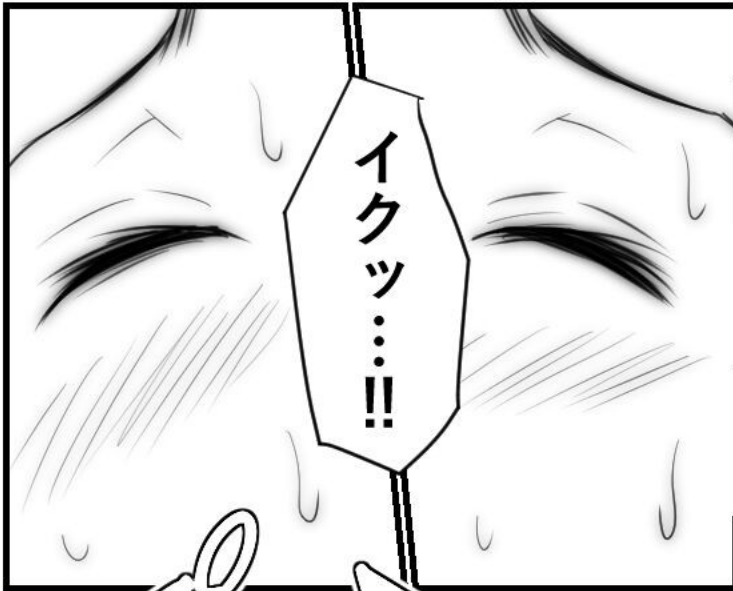
あっ!!

グ  
ー  
ー  
ふ  
に  
っ

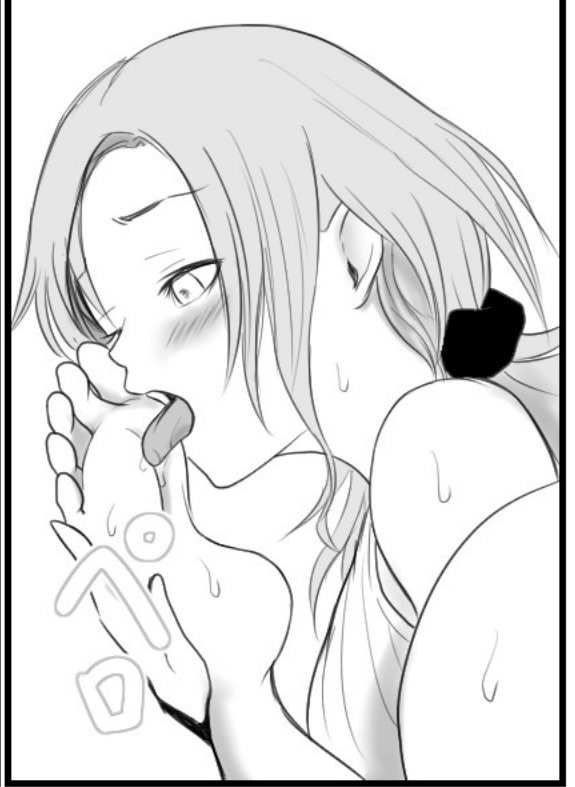
あっちの  
わたし?  
…も  
感じているの?

ああ…  
わたしの顔で  
そんな  
いやらしい顔  
しないでえ…!!





そういえば  
わたし…



夫と出会って  
普通の男女の営みを  
覚えていくうちに  
忘れていた…

わわわ

…いいえ、  
知られたくなくて  
心の奥底に  
しまい込んでいた  
女子校時代の性癖…

女の子の  
汗で蒸れた足

特に匂う足が  
狂おしいほどに  
好き



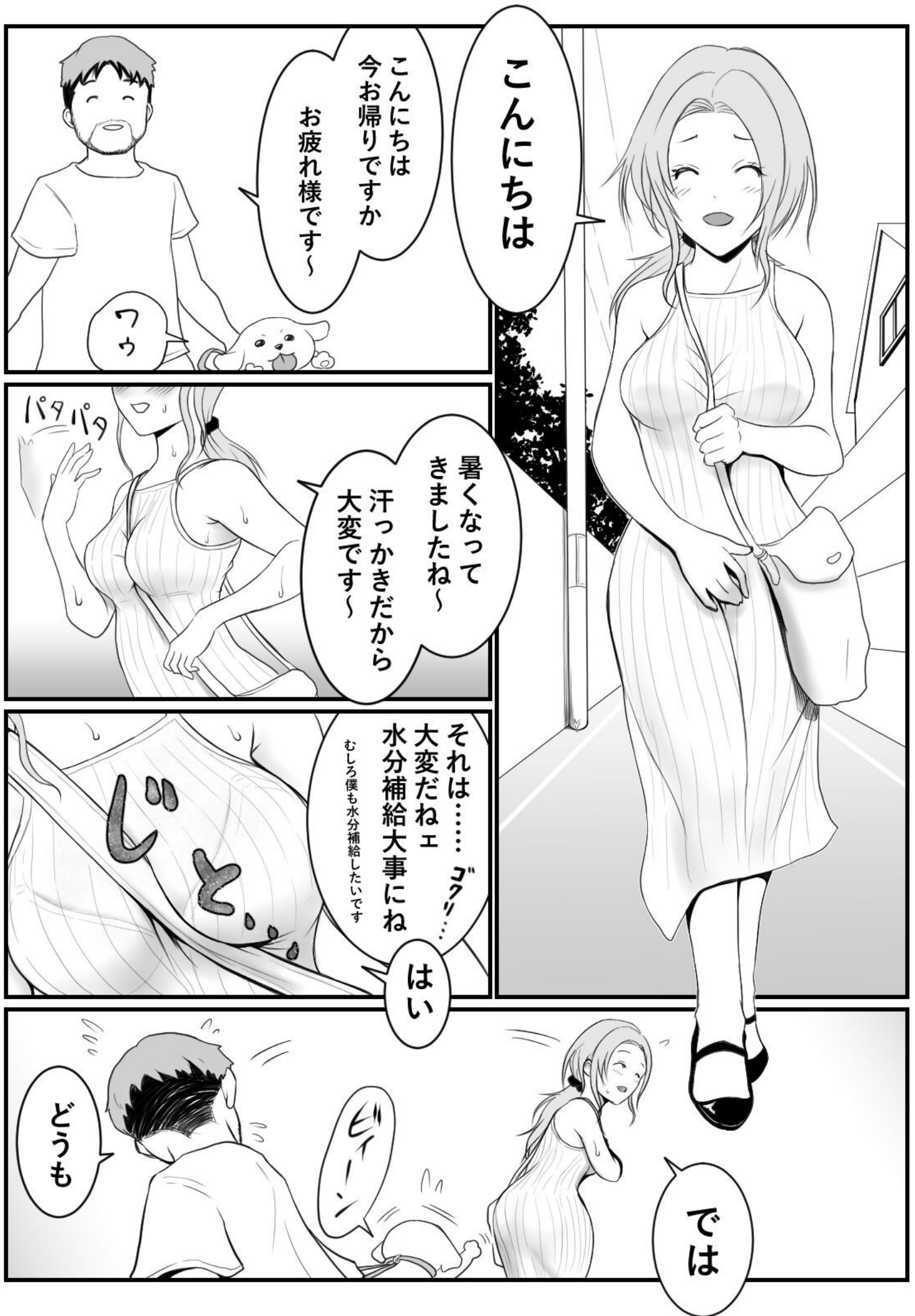
先輩…  
あたし何だか  
変な…カンジが…

大丈夫よ…  
大丈夫だから









こんにちは

こんにちは  
今お帰りですか  
お疲れ様です

ワウ

暑くなつて  
きましたね  
汗っかきだから  
大変です

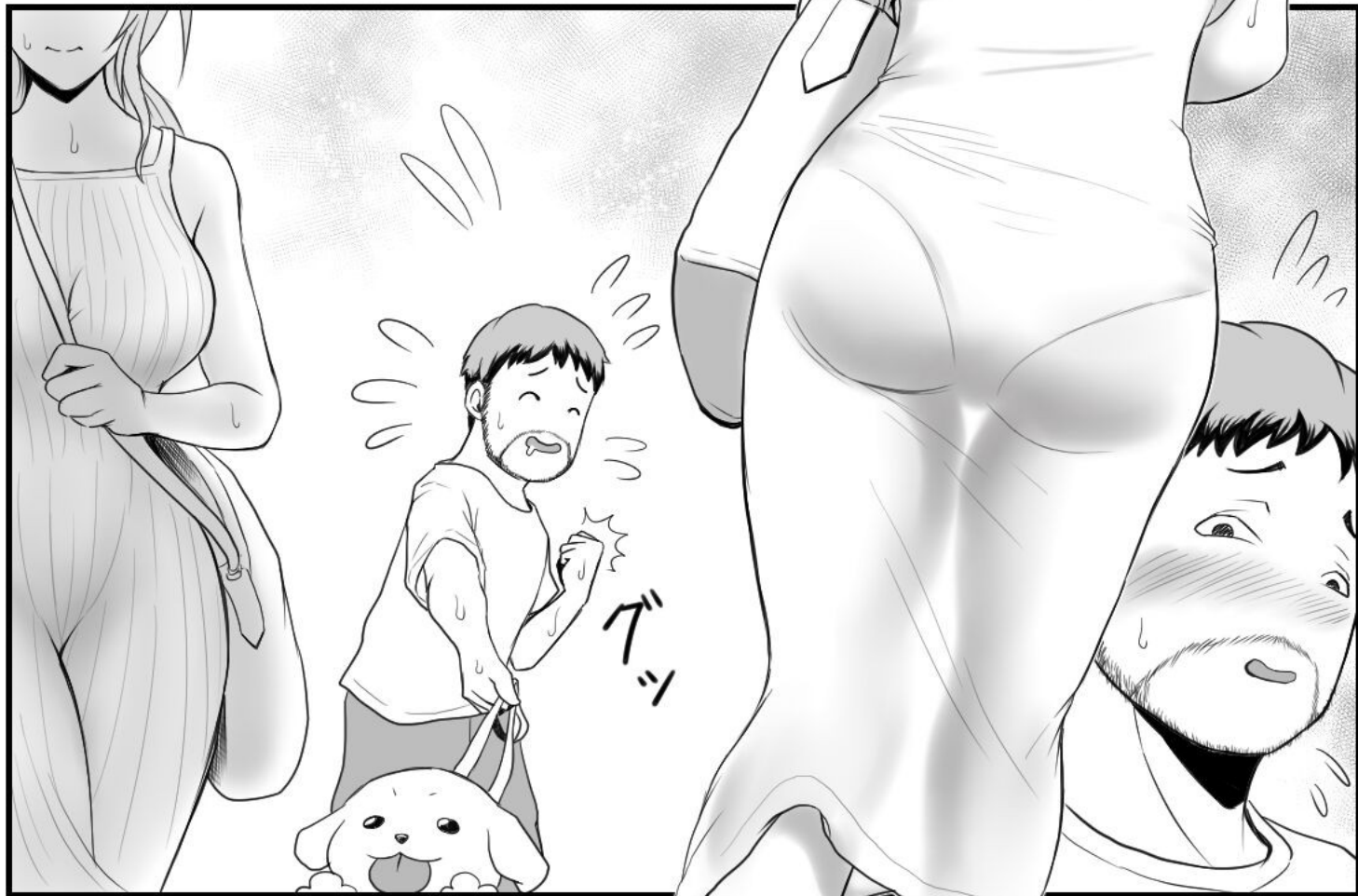
それは……ゴッ……  
大変だねエ  
水分補給大事にね  
むしろ僕も水分補給したいです

はい

では

どうも

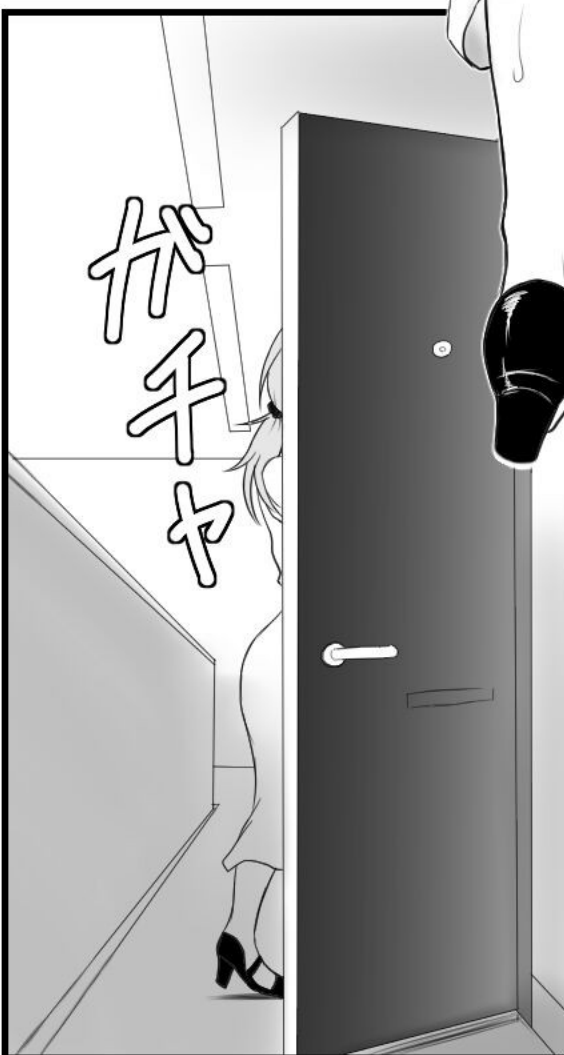
ハイ



グッ



パ  
タ  
ー

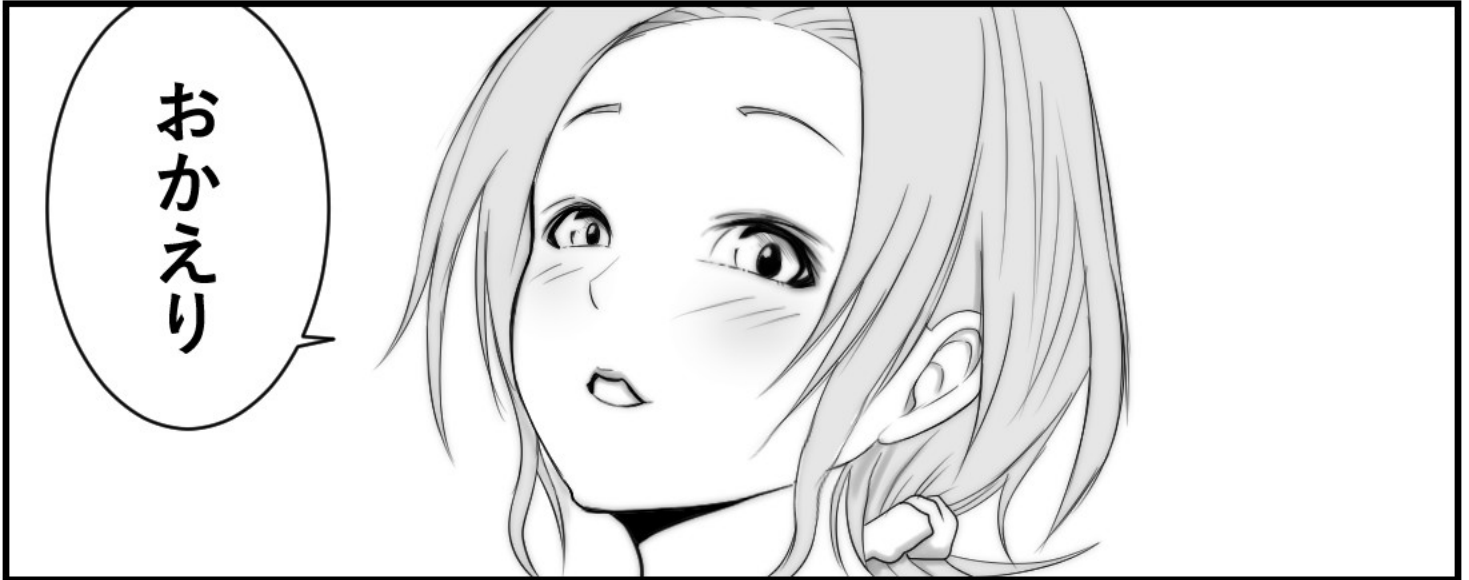
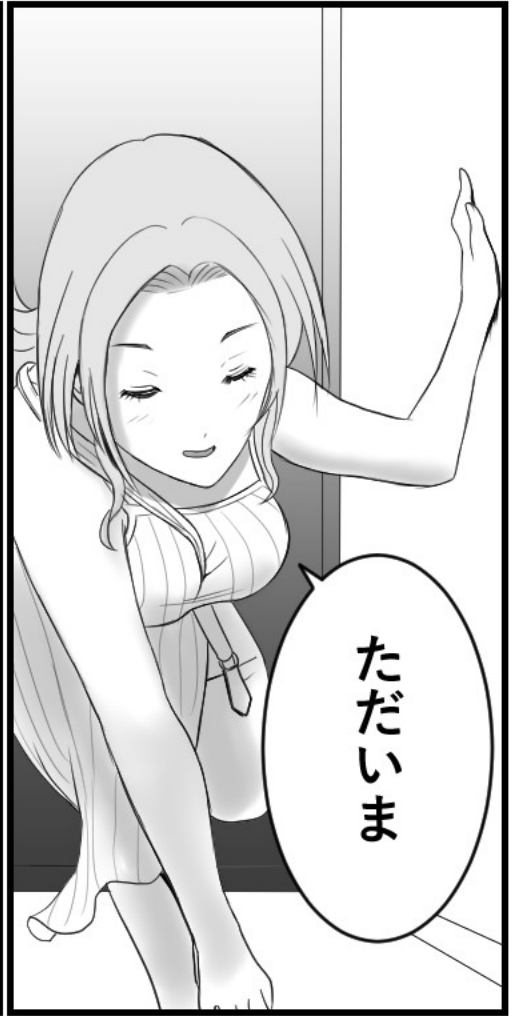
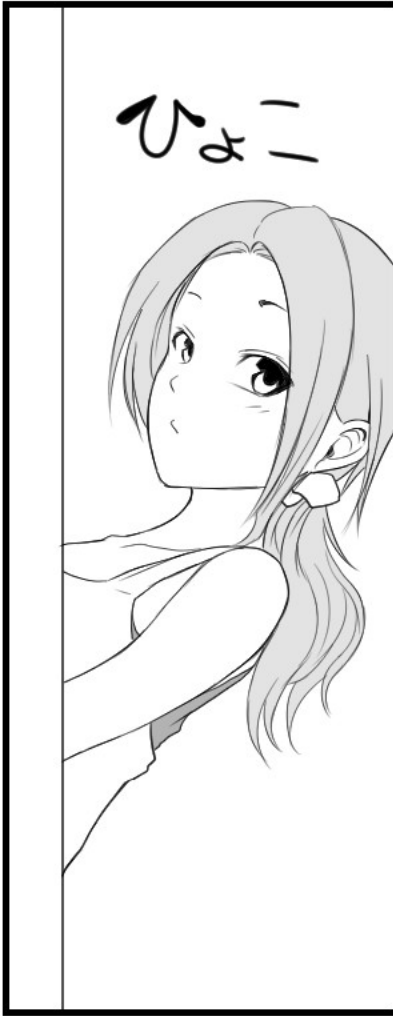


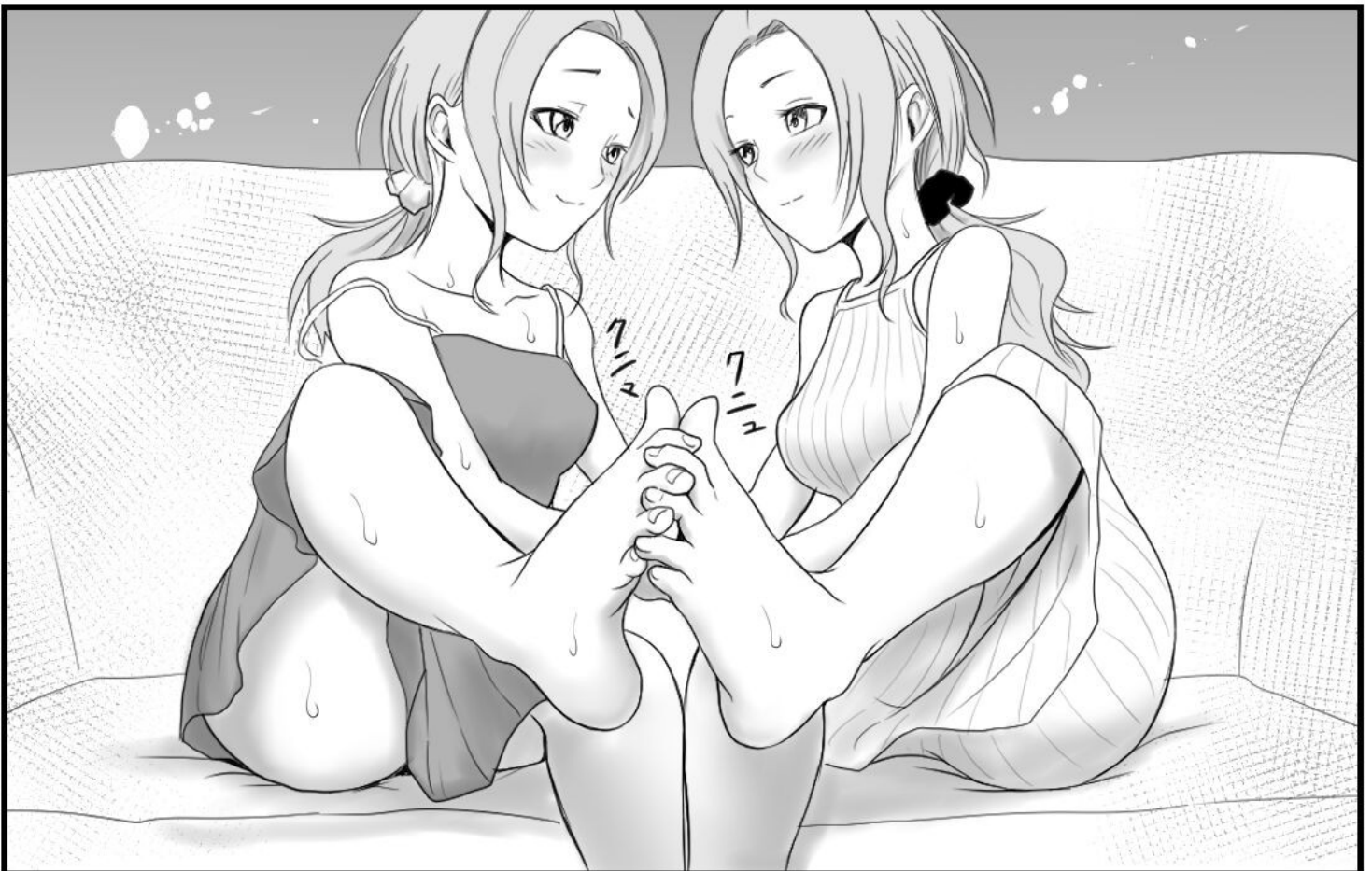
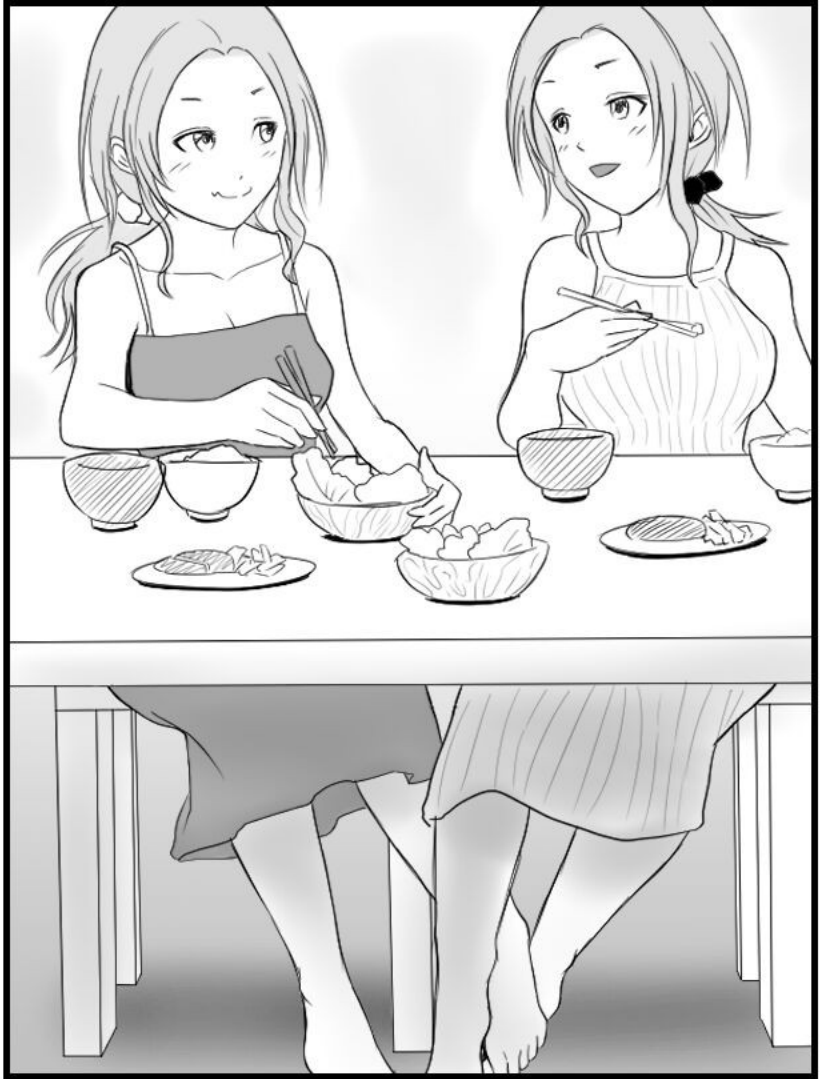
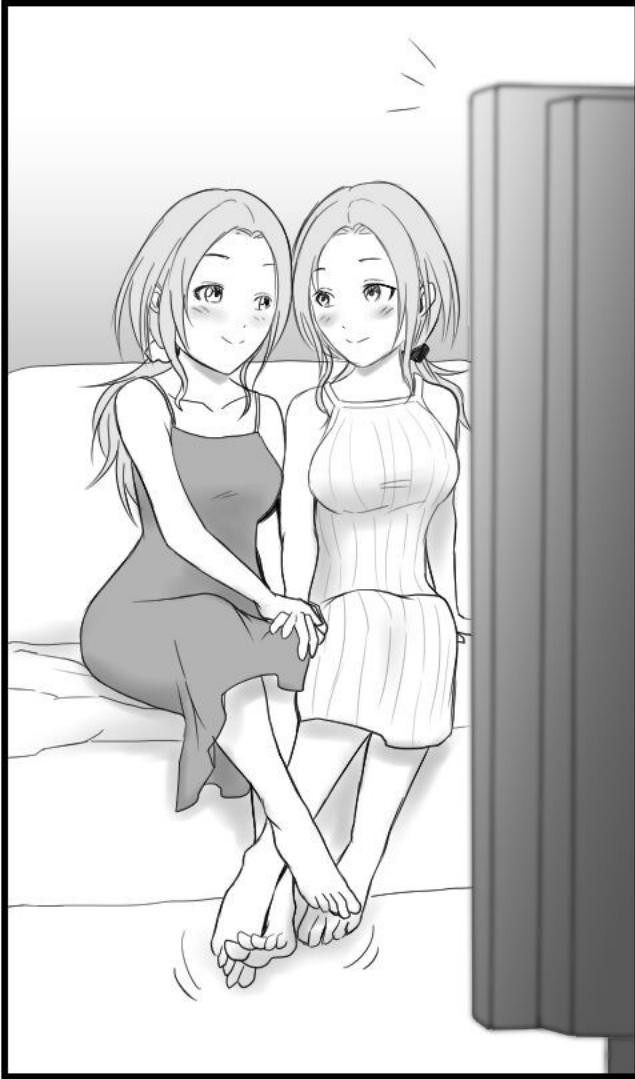
ガ  
キ  
ヤ



絡みつく  
男性の視線

やっぱり  
ちょっと怖いけど  
感じちゃう…





わたし達はもう  
数え切れないほど  
体を重ね合わせている

夫が亡くなり独り身で  
欲求不満だった頃を  
埋めるように毎日激しく  
求め合った

しだいに  
声も感覚も  
重なり合うぐらい

お互いを  
わかり合えるほど

好き

好き

好き

んっ

んっ

くちゅ

ひゅ

くちゅ

ぬちゅ

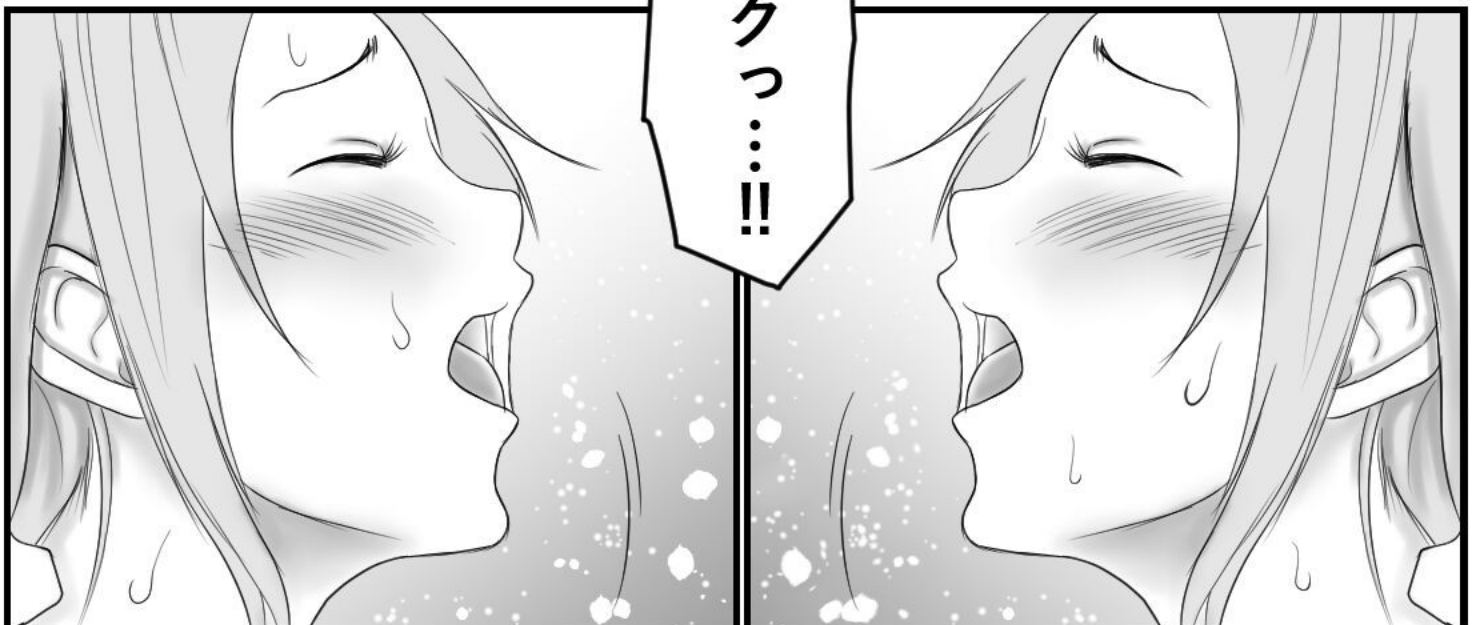
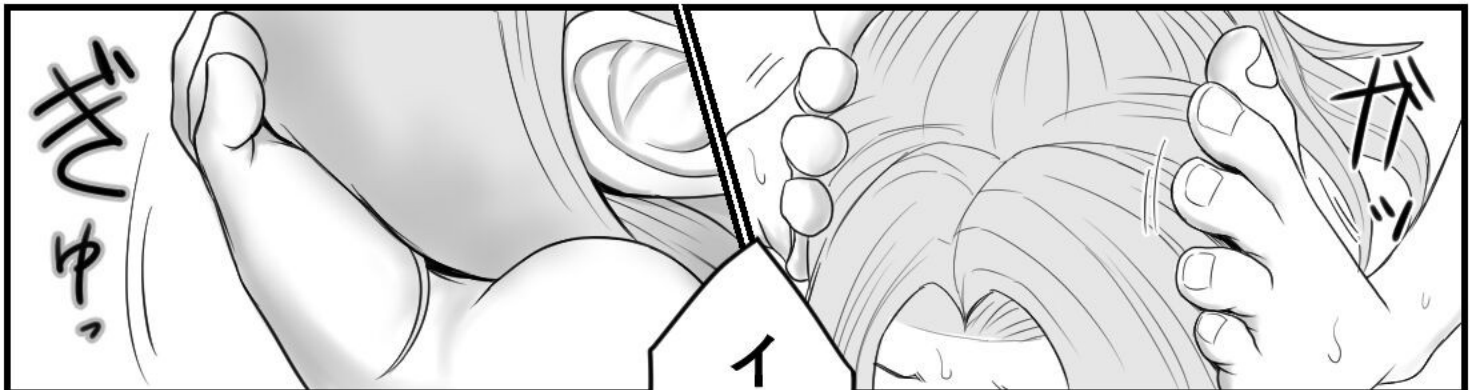
じゅぽ

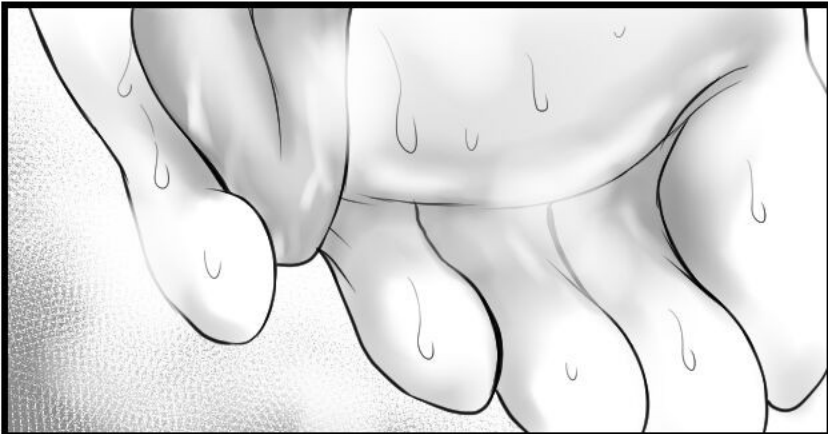
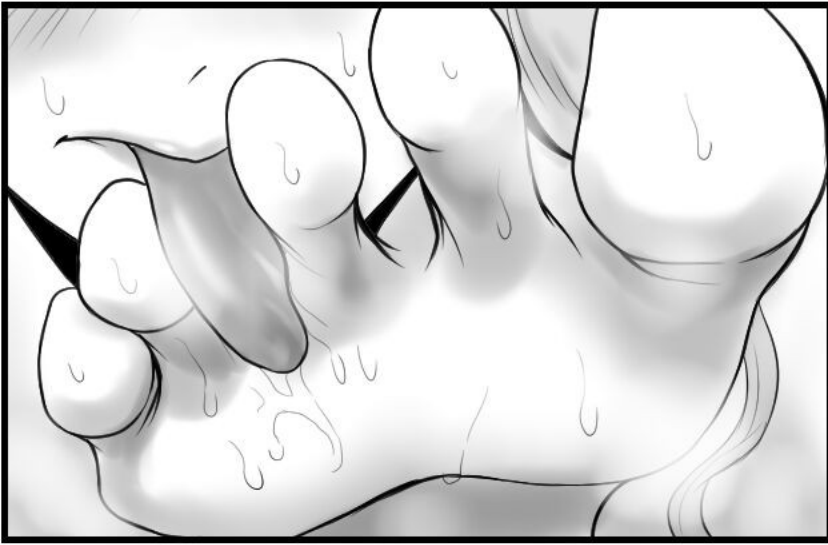
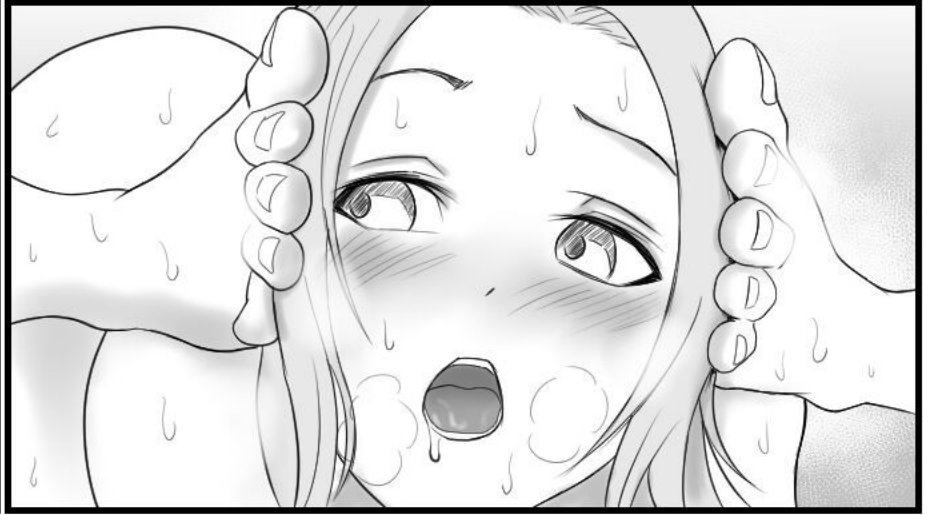
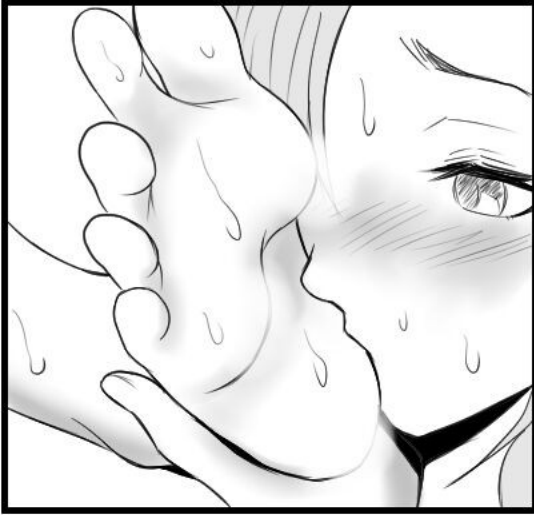
スリ

スリ

スリ

んっ





汗唾液愛液…

あらゆる体液のニオイが

充満する中で

一際主張してくる

足のニオイ…

むわっ  
むわっ

ああ…

なんで興奮する

ニオイなの…!!

こんなこと

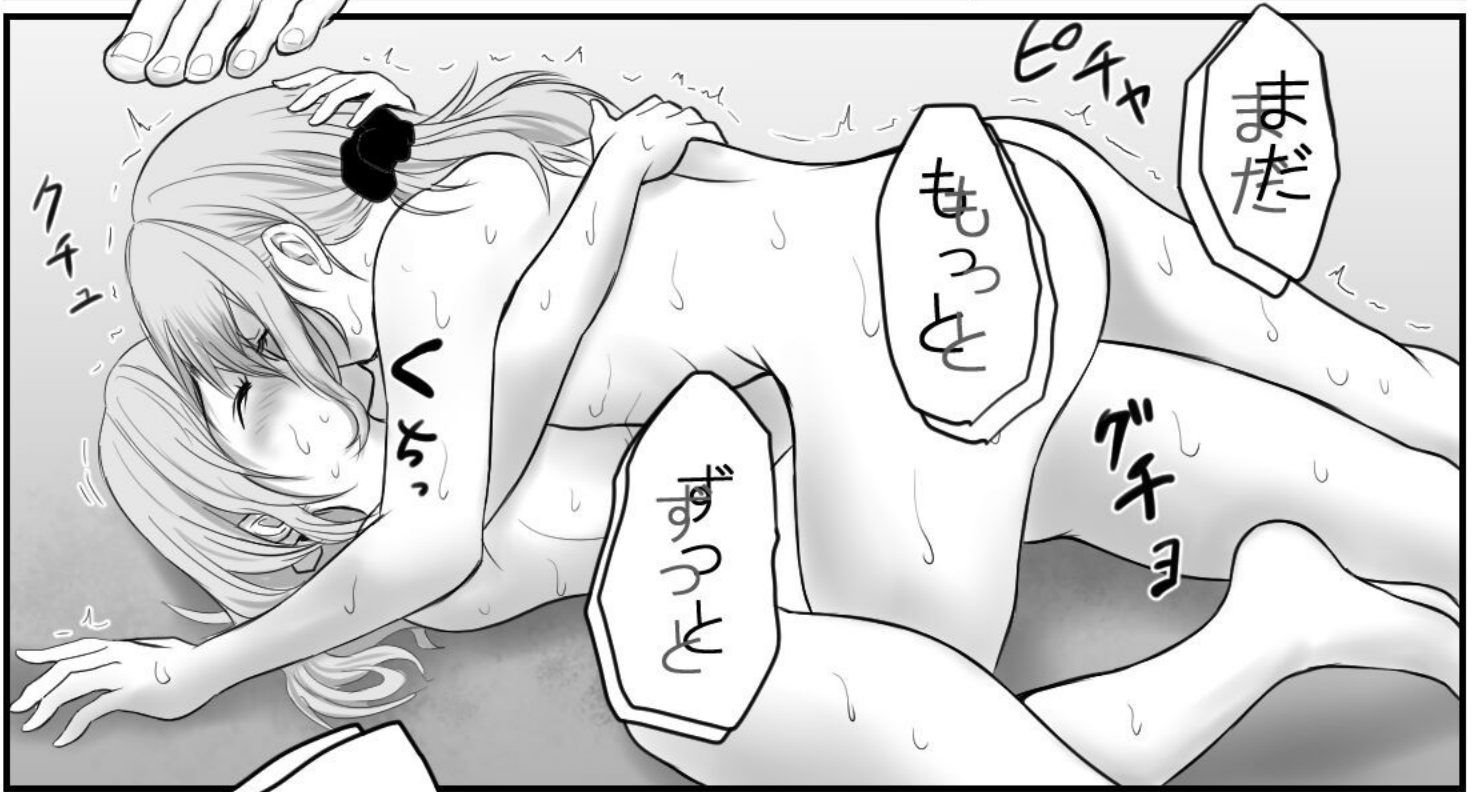
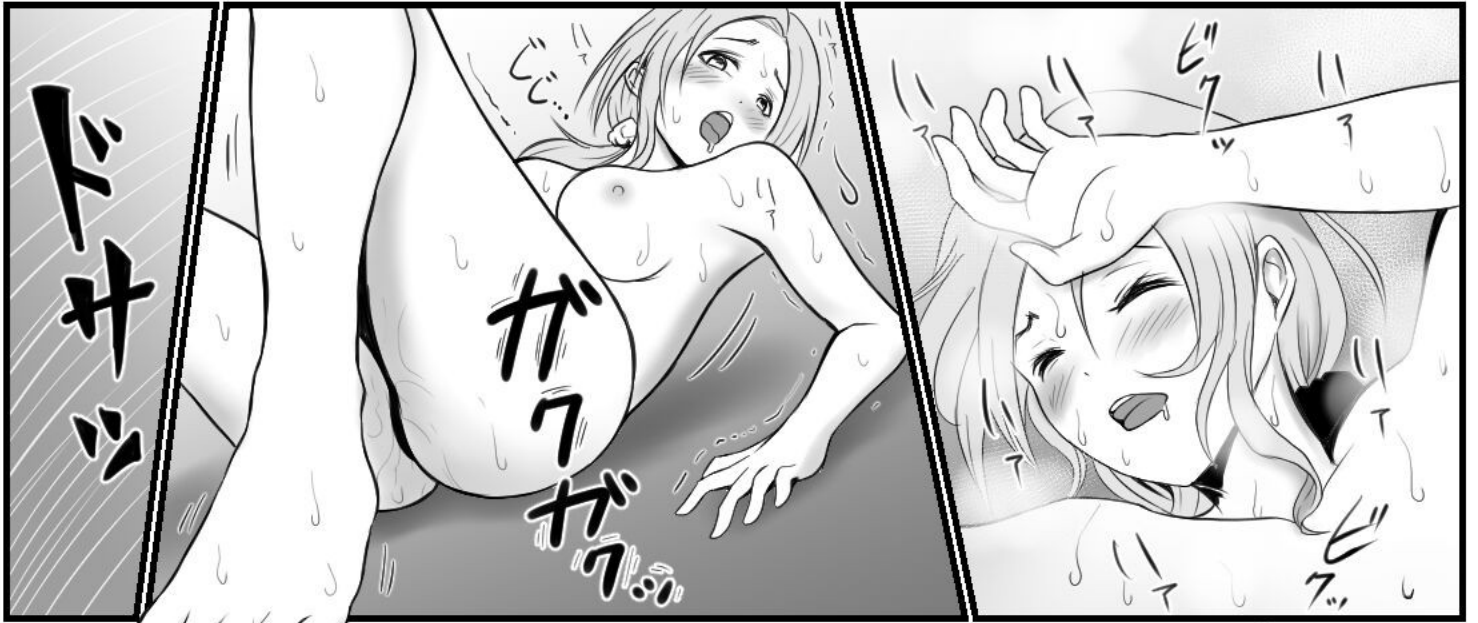
あの<sup>夫</sup>人どじゃあ

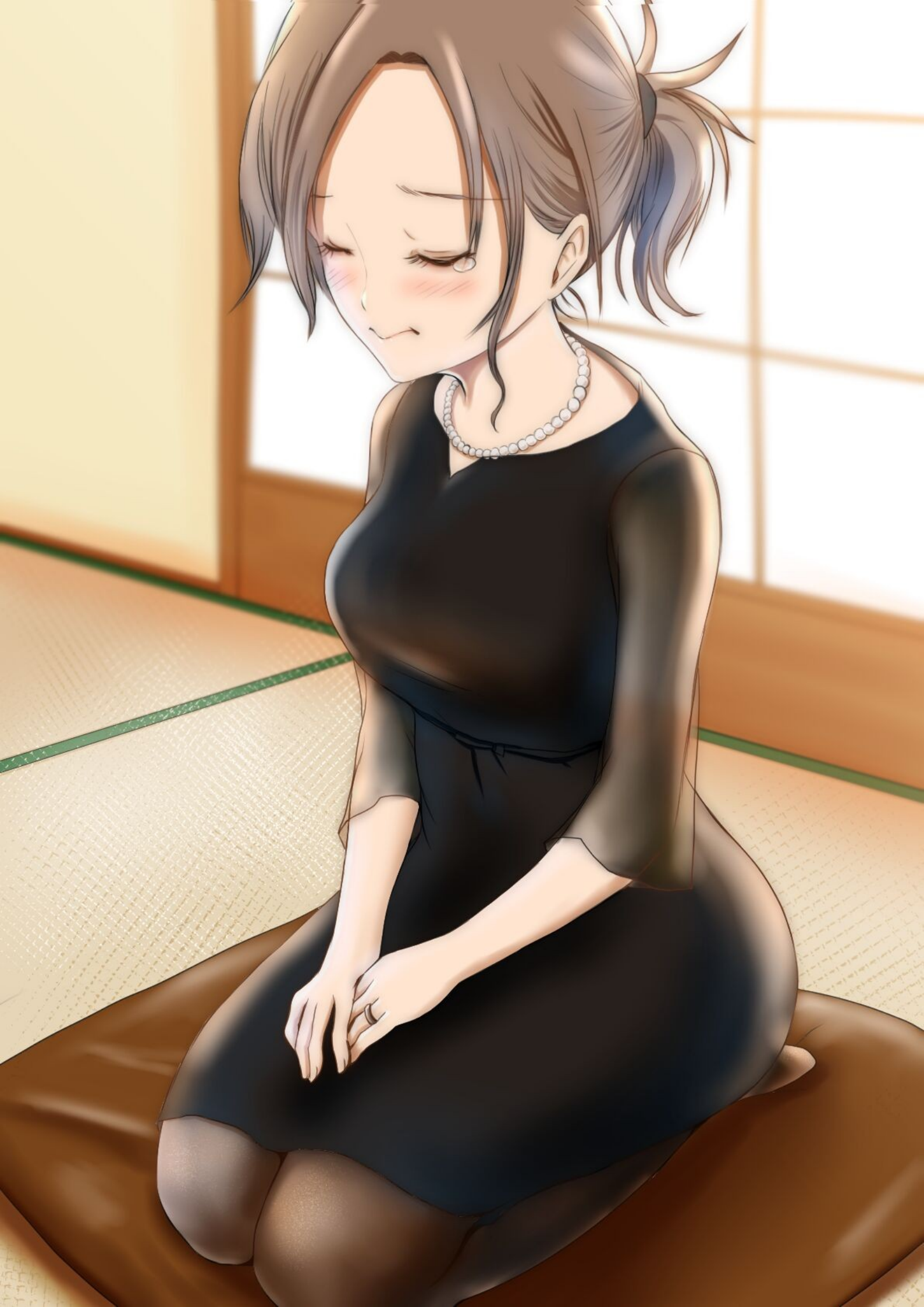
できなかつた…!!

ズクッ











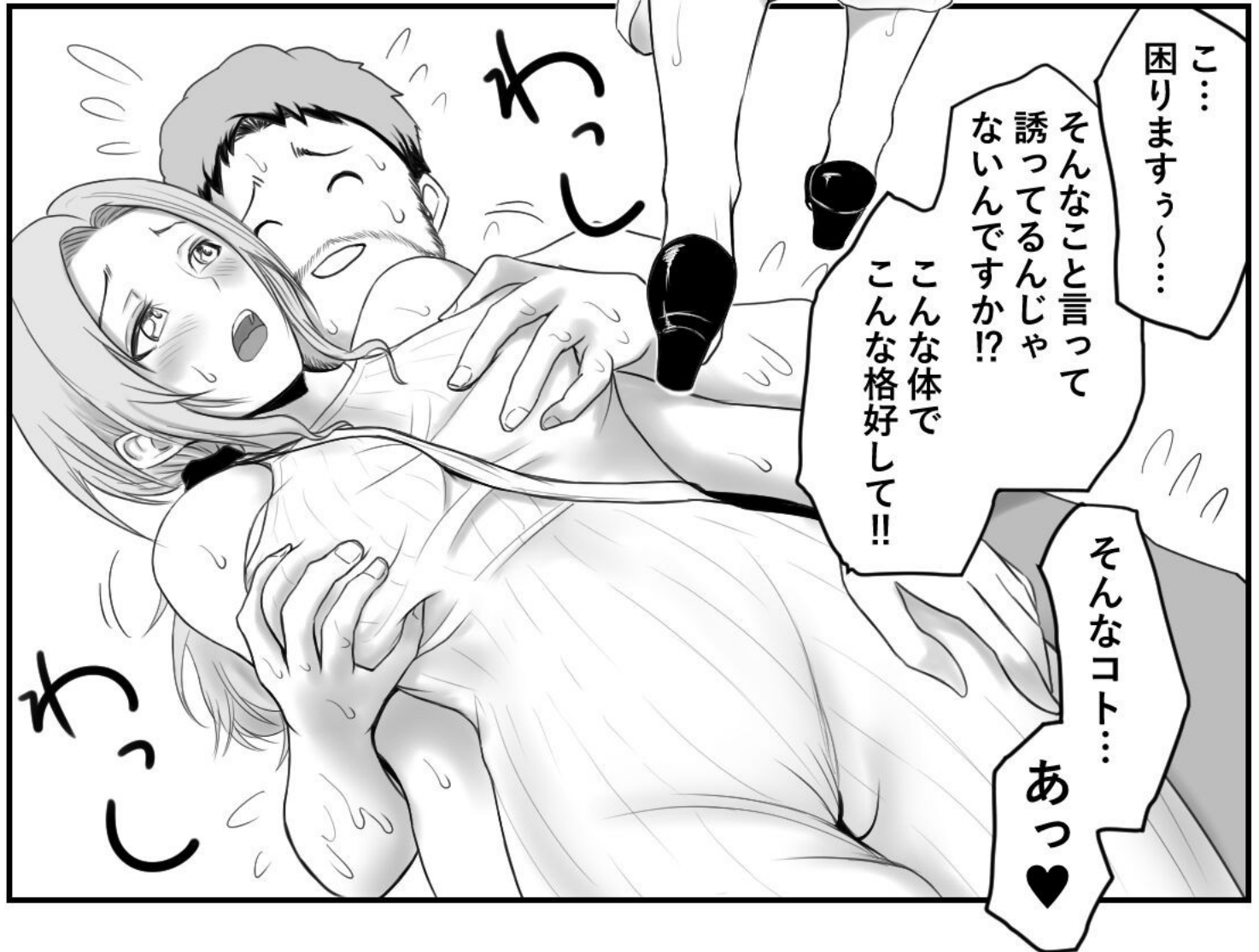


え...  
ちよ...

ガッ

むっ

むっ



こ...  
困りますう...

そんなこと言って  
誘ってるんじゃない  
んですか!?

こんな体で  
こんな格好して!!

そんなコト...

あっ  
♡

わっ

わっ



ほら  
汗以外の水分も  
かいてますよ!!

ああ…  
おっしやらないで…

じわ…

わんわん



あたゝ

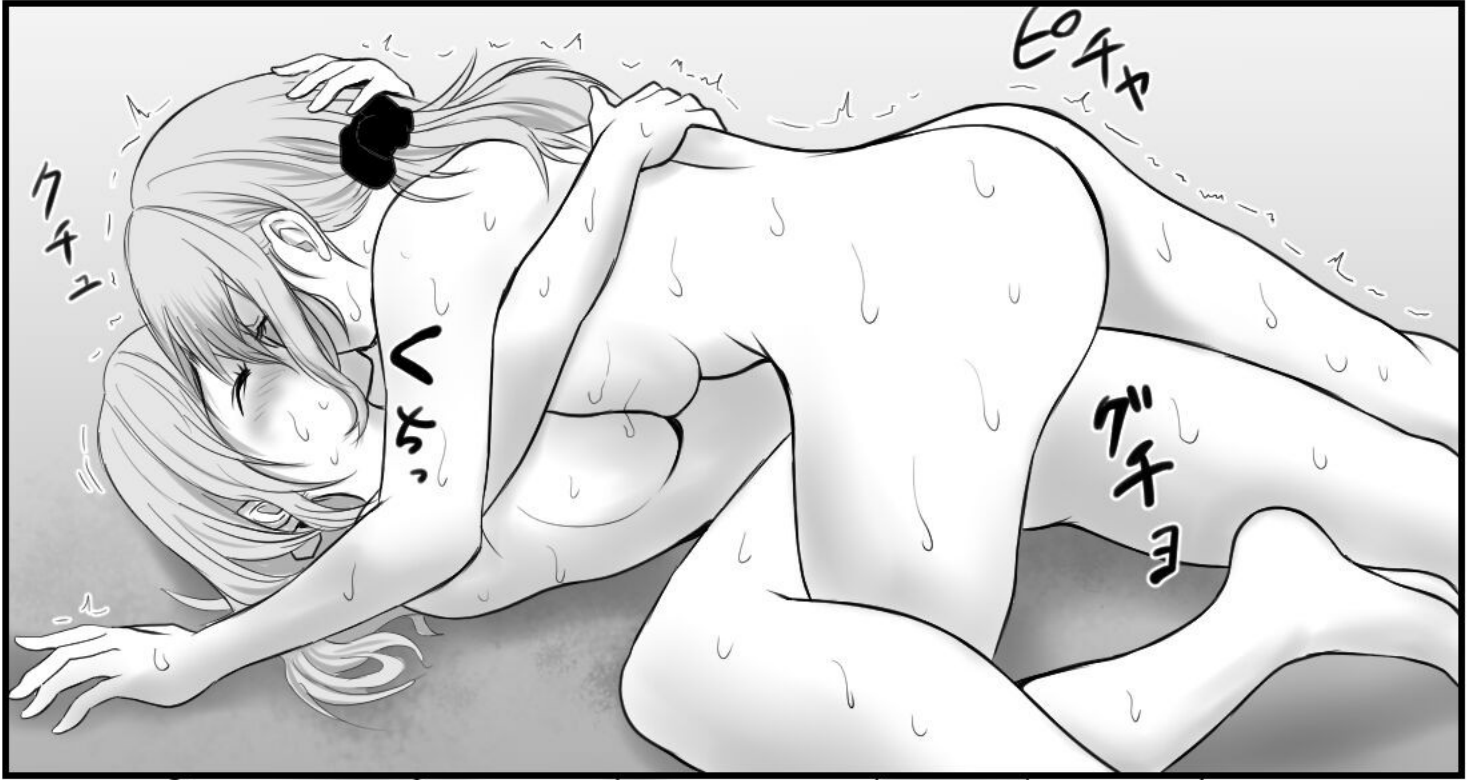
わう…

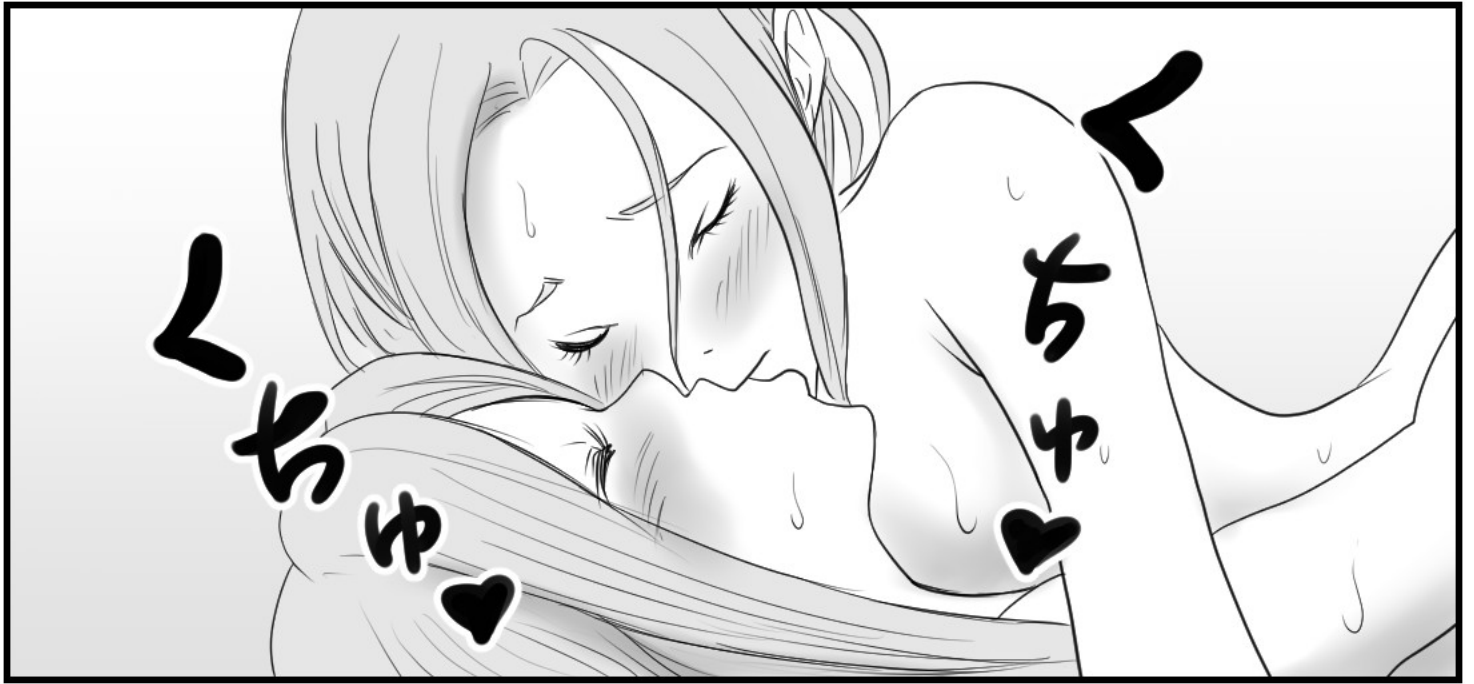


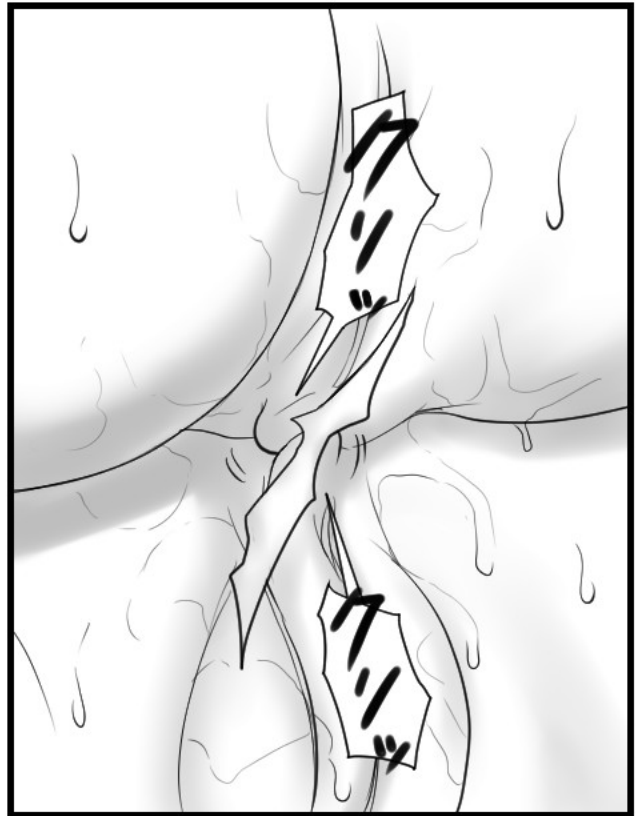
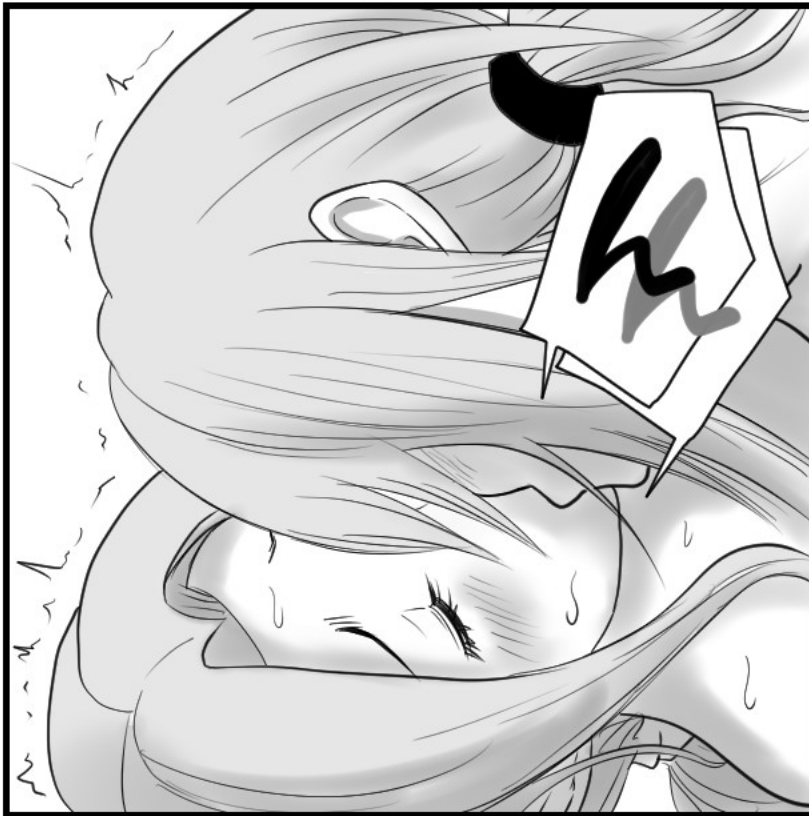
!? どうして!

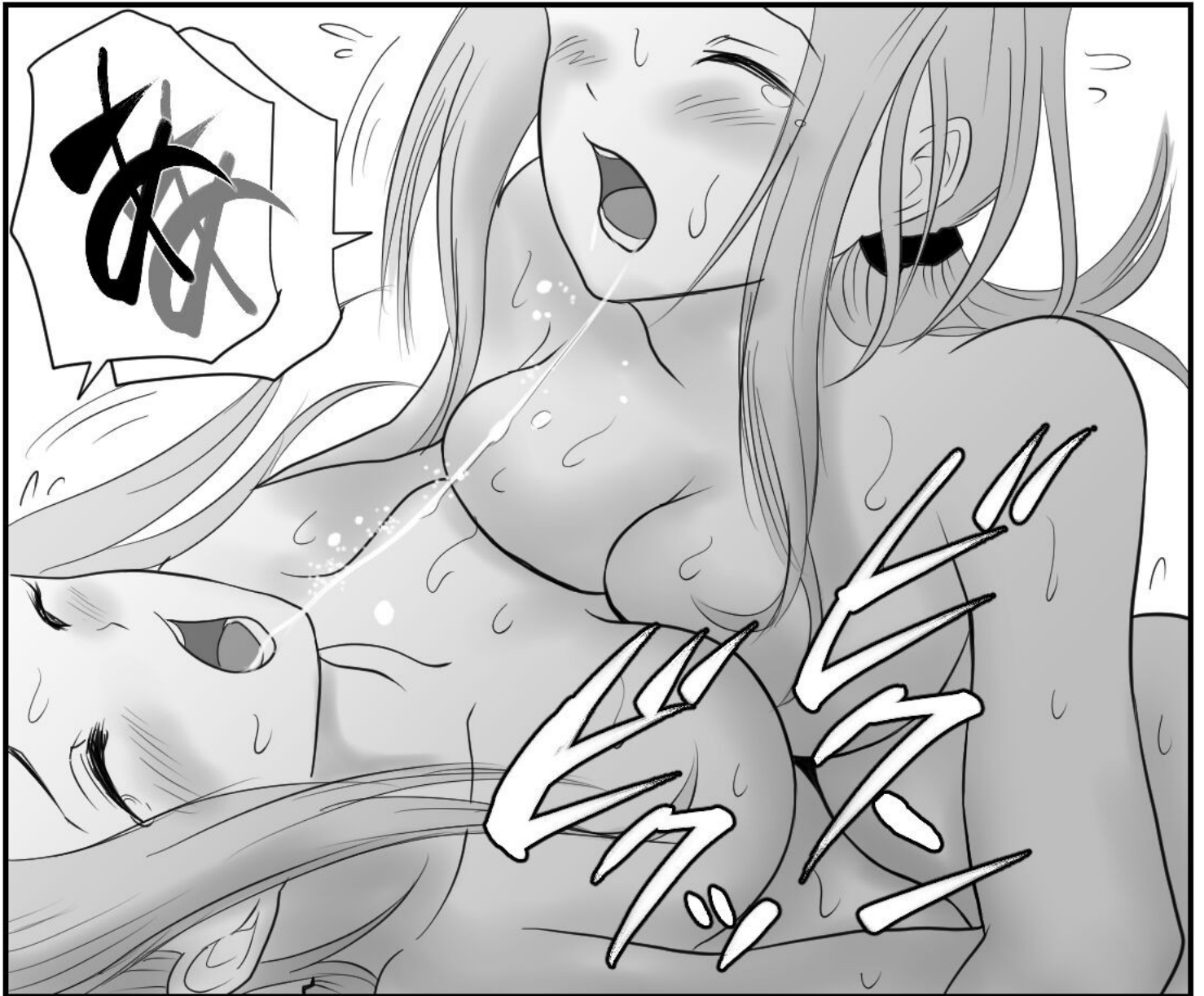
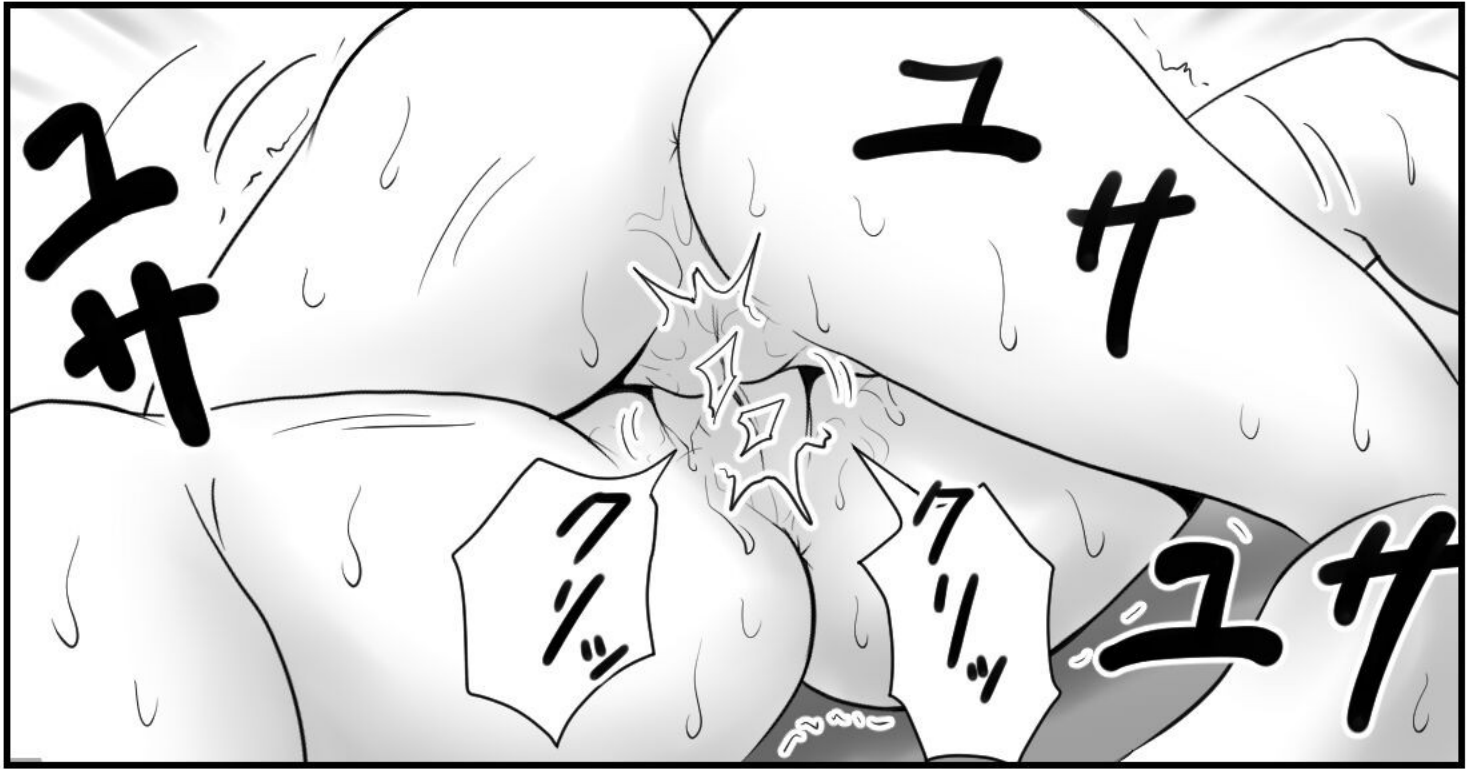


わんわん

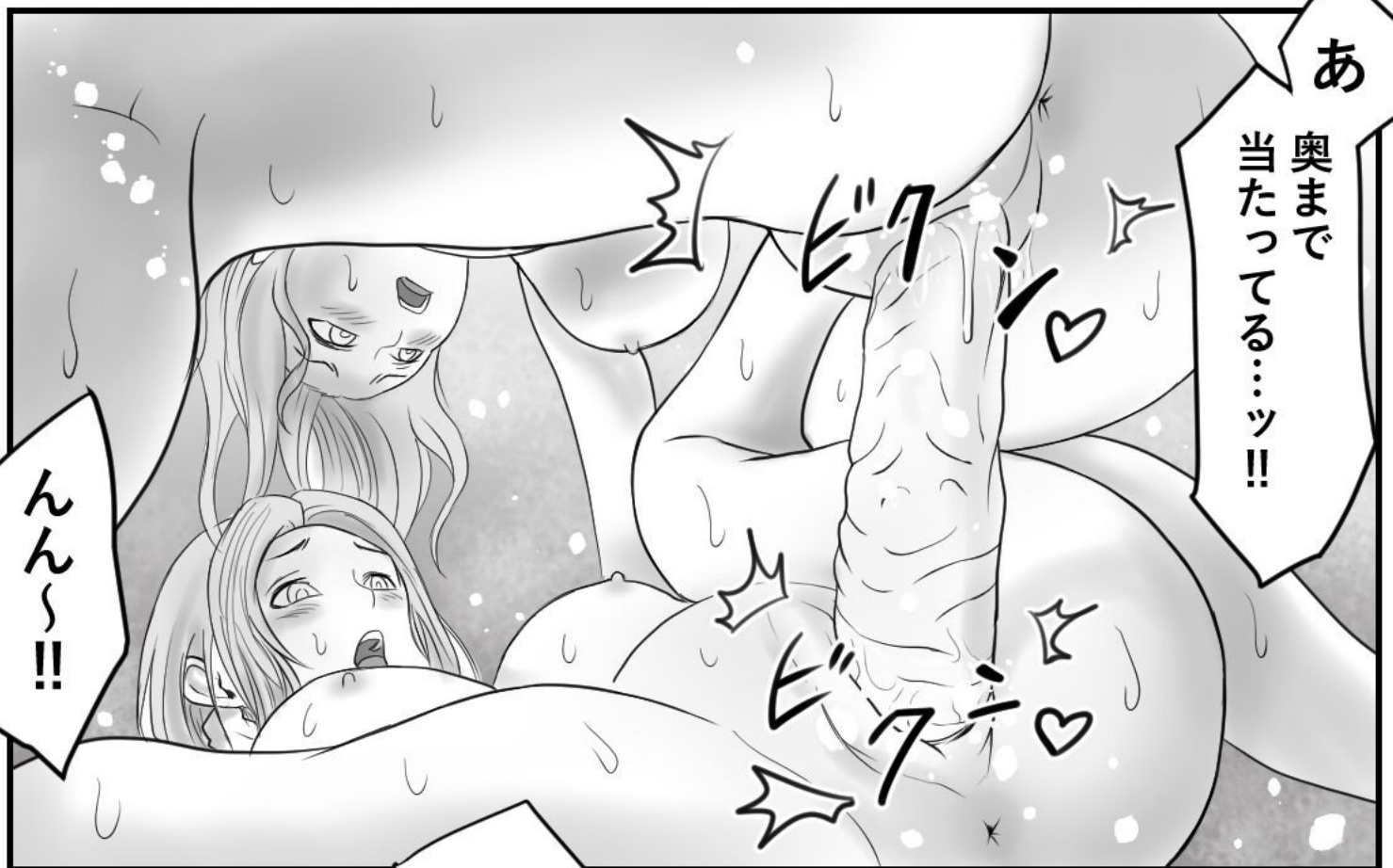












あ  
奥まで  
当たってる…ッ!!

んんッ!!

ビクッ  
ビクッ♡  
ビクッ♡



あっ♡

ビクッ

ガク

ズッ

ガク

ズッ

ビクッ



ズボ  
ズボ  
ズボ  
ズボ

